

授業科目	*基礎英語 (Aクラス)				単位	1		
履修	必修	関連資格				ナンバリング	TO11601J	
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3			
担当教員	林 裕二							
授業概要	<p>1. 担当教員が指定したテキストに取り組む。</p> <p>2. 英語を声を出して読むことができるようになるトレーニングをする。</p> <p>3. 対面授業で行う。なお、E learning 等に慣れるため、情報処理演習室を使うこともあります。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 比較的長い英文の読解ができる。</p> <p>2. 習慣として英文を読むことができる。</p> <p>3. 多読の Report を4週間分以上を提出できる。150 ページ以上を読める(レベル問わず)。*これが、評価割合の「レポート」20%です。部分点はあります。</p> <p>4. E-Learning の CHleru(チエル)の学習マイルが、300 マイル以上獲得できる。*これが評価割合の「レポート外の提出物」の 10%です。部分点はありませぬ。</p> <p>5. 共通テキスト(TOEIC テストにできる順英単語)を使って語彙力を高めることができる。これを確認する小テストは評価 20%です。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	20	20	0	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20		10		10		40	
知識・理解 (DP1-2)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-3)	10	20					30	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1 辞書を使わずに比較的長い文の読解ができる。				1 辞書を使って比較的長い文の読解ができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 大学での英語の学習方法の基本を学ぶ	講義	テキストの最初の章の2ページの和訳をする。	60
2	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読の方法を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
3	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読における語彙力増強について学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
4	テキストの該当箇所の和訳をする。 多読の英会話への応用を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
5	テキストの該当箇所の和訳をする。 速読の方法を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
6	テキストの該当箇所の和訳をする。 英文の流れのつかみ方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
7	テキストの該当箇所の和訳をする。 読解のリスニング力への応用を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
8	テキストの該当箇所の和訳をする。 読解の英作文力への応用を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
9	テキストの該当箇所の和訳をする。 動詞句の訳し方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
10	テキストの該当箇所の和訳をする。 副詞句の訳し方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
11	テキストの該当箇所の和訳をする。 自然な日本語訳ということを知る。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
12	テキストの該当箇所の和訳をする。 法を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
13	テキストの該当箇所の和訳をする。 関係詞を含む文章の訳し方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。	60
14	テキストの該当箇所の和訳をする。 不定詞を含む文章の訳し方を学ぶ。	演習、講義	次の章の英文和訳をする。理解が不十分だと思われる章を読み返す。	60
15	前回までの確認・まとめ	演習・講義	前回までのまとめ	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高校までに学んだ英単語を確実に身につけておく。			
テキスト	<p>共通テキスト: College Friends</p> <p>1.『ブレントン青春白書』—学園ドラマで学ぶ総合英語 著者: Atsuko Uemura, Irene Iwasaki 出版社: センゲージ ラーニング ISBN: 978-1-30557-579-0</p> <p>2.カラー版 TOEIC テストに できる順英単語 河上 源一(著) ブルース ハード(監修) Bruce Hird(原著) 詩出版社: Kadokawa</p> <p>*このテキストは、最初からp184 までがこの授業の範囲です。授業最初の小テストで使います。これに遅れたら「遅刻」となります。共通テキストは、後期の応用英語でも使います。</p> <p>3. 配布プリント</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>本学の図書館にある多読教材 NHKのラジオ英語講座「ポキャブライダー」「Enjoy Simple English」や「ラジオ英会話」、「英会話タイムトライアル」、ニュースで学ぶ「現代英語」等は続けて利用すると効果的です。</p> <p>TED: Technology, Entertainment and Design (人気の講演動画オンライン) 英語字幕、スピード調整できます。</p> <p>Storyline Online (https://www.storylineonline.net/) 英語圏の子向け物語をハリウッドスターが朗読。字幕、スピード調整できます。</p> <p>YouGlish(https://youglish.com/) 単語の発音を実際のスピーチで聞ける。</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>評価割合の試験(50)は、期末テストが 50 です。</p> <p>多読の Report は、毎月少なくとも1 回は出すこと。授業期間の最終月(7月)に新規に3 週以上分をまとめて出すと、10点満点内での評価となります。</p> <p>次の人を表彰します。CHleru の学習マイル数が多い人、英語の多読のページ数が多い人、またページ数も多くてレベルの高い本を読んだ人。E Learning 用にマイク付きイヤホン等をご用意ください。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>日頃の授業の課題について、辞書を使い、丁寧に調べるという地道な取り組みが大事です。</p> <p>E-Learning の CHleru と多読については、入学後のオリエンテーションで説明します。</p> <p>小テストに遅れたら、遅刻となります。</p>			

